



COVID-19がもたらす 女性・女兒へのリスクと UN Women（国連女性機関） が果たす役割

UN Women（国連女性機関）
日本事務所 所長
石川雅恵

新型コロナウイルスがもたらす影響・リスク



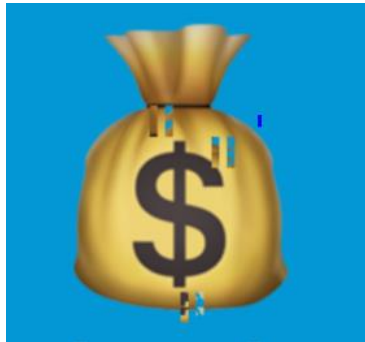
感染者8536万人

死者184万人以上が確認されました。（2021年1月5日現在）



経済成長マイナス4.3%

2020年の世界経済成長率はマイナス4.3%と予測され(出展:世界銀行)、経済損失は2年間で約1300兆円と試算されています。(出展:IMF)



貧困の拡大

新たに9600万人が極度の貧困状態に陥ると予想されました。(出展:UN Women)



教育機会への影響

ピーク時には15億人の学生が学校に通えなくなりました。(出展:世界銀行)

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に係る
大きなリスクとなっている。

“UNDP (国連開発計画) は、世界の教育、健康、生活水準を総合した尺度である人間開発指数が、今年、測定を開始した1990年以来、初めて減少する可能性があると予測しています。”



COVID-19
RESPONSE

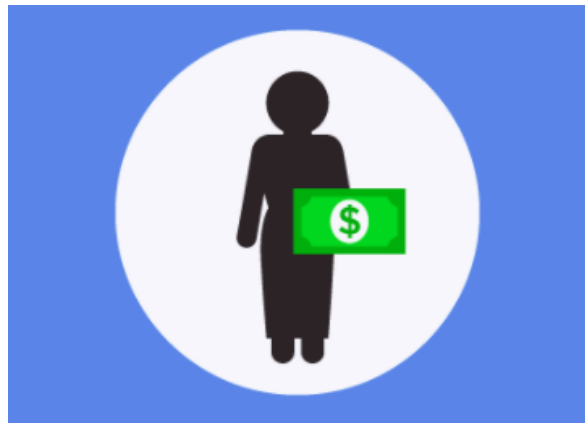


新型コロナウイルスがもたらす影響・リスク

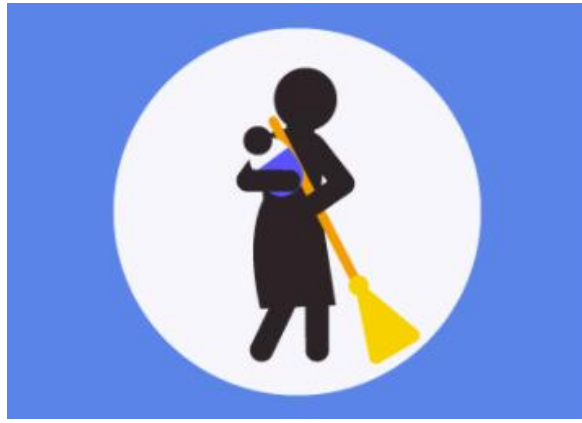
一方で、新型コロナウイルス危機は、全ての人に同一の影響をもたらすわけではありません。例えば、女性は以下の様な分野において、より高いリスク・影響を受けることが明らかになっています。



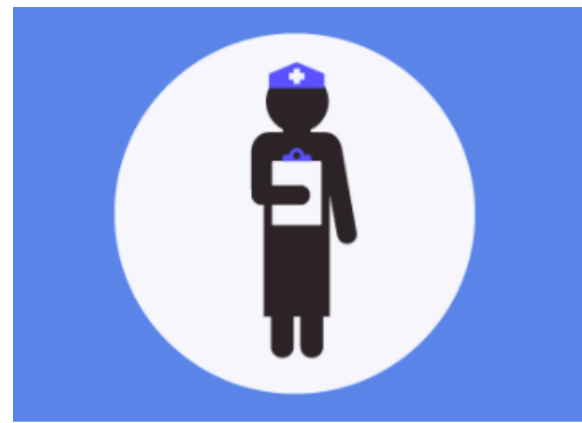
多くの国でDV報告件数が25%以上増加



女性は不安定な就業体系が多く、不景気の影響が直撃



女性は男性の約3倍の時間、家事・育児・介護等の無償労働に従事



最前線に対応する医療従事者の70%は女性、感染リスクにさらされている

ジェンダー不平等に基づくリスク



COVID-19
RESPONSE

UN
WOMEN

コロナ禍における女性支援

コロナ禍で世界が直面する課題

注力分野例

より良い復興

医療危機

暴力

経済・
雇用



あらゆる形の暴力・ハラスメントへの対策



コロナ対策施策における女性参画促進



家庭での無償労働の公平な分配



女性の経済支援強化

新型コロナウイルス

ジェンダー不平等

女性参画を通じた、ジェンダーに配慮した施策の実施が肝要

ジェンダーに配慮したコロナ対策や経済・雇用回復施策
全ての意思決定プロセスにおいて、女性が男性と同等の立場で参加・発言する
機会の実現


ジェンダー不平等リスクの是正
“より良い復興”の実現

SDGsの達成に貢献

国連女性機関の対応例


家庭での無償労働の公平な分配、ジェンダーに基づく暴力への対策強化、女性への経済支援強化、意思決定に係る女性の参画推進、データ収集・調査等に注力し、世界各地で対応してきました。

ジェンダーに基づく暴力への対策強化




リスク調査、被害者への支援強化等を、エジプト、ヨルダン、レバノン、リビア、マラウィ、モロッコ、トンガ、カメルーン、リベリア、ニジェール、ケニア等で実施。

意思決定への女性の参画推進



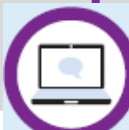
地元女性団体と協議し女性の立場・必要を反映した政策提言の実施、対話のプラットフォームの提供等を、ネパール、ミャンマー、中央アジア、パレスチナ等で実施。

無償労働の公平な分配




家庭で男性の無償労働参画を呼び掛けるHeForSheAtHomeキャンペーンや各種調査等を、アルゼンチン、モロッコ、レバノン、エルサルバドル、日本等で実施。

データ収集・調査




アジアでのオンライン調査実施、国連開発計画と共同のグローバルデータベースの作成、各国政府（東ティモール、ベトナム、パラグアイ等）への技術支援等を実施。

女性の経済支援強化



女性への職業訓練、経済刺激施策におけるジェンダー観点の導入、就労機会の提供、現金供与等を、中東・ラテンアメリカ地域、南アフリカ、セネガル、ヨルダン等で実施。

国連内の調整



国連内でジェンダーに配慮したコロナ対策がされるように各種の啓発・調整、マルチパートナー信託基金(MPTF)や女性・平和・人道基金(WPHF)への資金獲得活動等を実施。

国連女性機関の対応例



ジェンダーに基づく暴力への対策強化



ケニア ヘルプラインを支援

ケニアでは、18-45歳の女性の45%がなんらかの暴力・性暴力の被害にあった経験があるとされ、暴力は深刻な問題です。暴力の被害者に対し即時支援を行う国立ヘルプラインへの問い合わせは、ロックダウン下において急増しました。UN Womenはこういった急増するニーズに対応できるよう、ヘルプラインセンターがカウンセラーを増員できるよう支援しました。



啓発キャンペーンの実施

コロナ禍で急増した家庭内暴力の問題も踏まえ、ジェンダーに基づく暴力撤廃に向けたグローバルな16日間のキャンペーンを11月25日（女性に対する暴力撤廃の国際デー）から12月10日（人権デー）まで世界中で開催しました。期間中、建物をオレンジ色にライトアップしたり、オレンジの服やアクセサリを着用頂くことで、賛同の意志表明をして頂きました。

国連女性機関の対応例



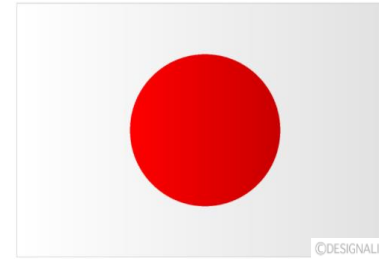
女性の経済支援強化



Photo: UN Women/Lauren Rooney

ヨルダン 最新テクノロジーを駆使して シリア難民女性を支援

ヨルダンのザターリ難民キャンプでは、外出制限がかかる中、ブロックチェーンテクノロジーを駆使し、シリア難民女性達への経済支援を行いました。WFP（世界食糧計画）と協働し、難民女性に仕事を提供し、オンラインで給与を提供。また、携帯アプリのWhatsAppを用いて、コロナに関する情報提供を行いました。



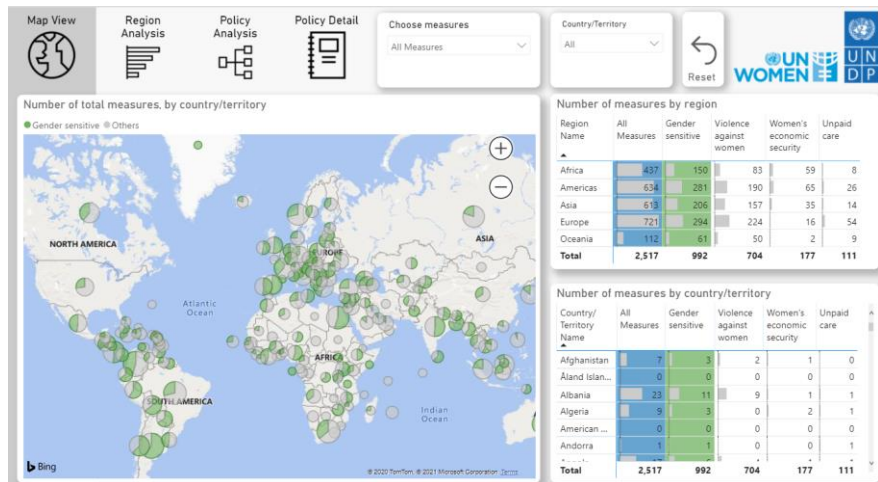
Bangladesh マスクの作成

世界最大の難民キャンプがある Bangladesh のコックスバザールでは、日本からご支援を頂き、UN Women はロヒンギヤの女性によるマスク製作を支援しました。マスクの製作活動は、キャンプ内にある5つの多目的女性センターで行われています。女性が一人で家計を支えている46家庭から163名が携わり、50,000枚以上のマスクを製作しました。

国連女性機関の対応例



データ収集・調査



各国政府のコロナ対策に係るデータベース

UN Womenと国連開発計画（UNDP）は、データベース「COVID-19 グローバル・ジェンダー・レスポンス・トラッカー(ジェンダー対応追跡ツール)」を新たに開発。206の国と地域が導入した2,500以上の新型コロナウイルス感染症対策を、女性と少女に対する暴力への取り組み、無償のケア労働への支援、女性への経済的保障の強化、の3つの領域について、ジェンダー的視点から具体的に分析。女性と少女に配慮した政策が不十分なことがわかりました。



意思決定への女性の参画推進



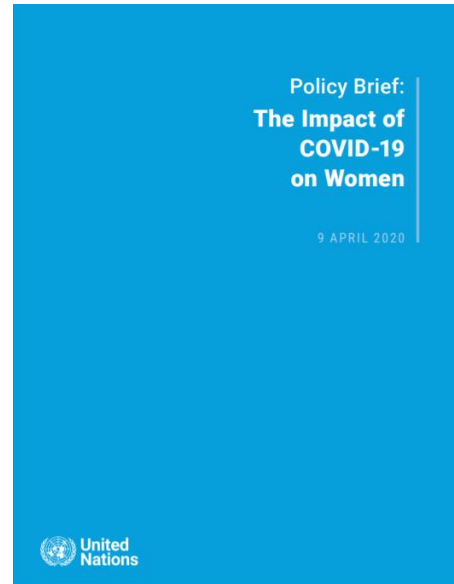
NY 国連ハイレベル会合で各国のジェンダー平等推進の取り組みを促進

2020年10月に開催された国連総会中のバーチャル・ハイレベル会合で、100か国以上が世界中の女性と少女のジェンダー平等を推進する具体的な行動をとることを確約しました。UN Womenは、特に女性組織、女性省庁、そして変化を主導する若いフェミニストとともに、大胆なリーダーシップ、揺るぎない政治的意志、緊急の投資を通じて、女性と少女の歴史の流れを変える行動を呼びかけました。

国連女性機関の対応例



国連内の調整



国連の政策文書

「新型コロナウイルスの女性への影響」への貢献

2020年4月に発出された同政策文書は、COVID-19の蔓延は、健康・経済、安全、社会保障に至る多様な分野において、女性及び少女により大きな影響を与えていることを示し、ジェンダーに配慮した政策実施に係る重点事項を示しています。UN Womenは本文書の作成に貢献しました。

国連女性機関 日本事務所の活動

本部の重点分野に沿って、日本においても各種啓発活動・政策提言を実施しました。



無償労働の公平な分配

HeForSheAtHomeキャンペーンを実施。内閣人事局、在京大使館、民間企業、大学、地方自治体等と協働し拡散。



ジェンダー平等を実現する “より良い復興”

ポストコロナ・Withコロナの社会を見据え、従前以上にジェンダー平等が進む社会に復興するよう、ステレオタイプの打破、家庭と両立し働きやすい環境の構築等に関する啓発活動を実施。



女性の地位向上などを旨とする国連の機関、UN Womenは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて各国で外出制限が行われ、家で過ごす時間が増えることで、女性がDVを受ける危険性が高まっていると指摘しています。

女性と女兒に対する暴力： 陰のパンデミック

ロックダウンに伴い増加する、女性・女兒への暴力に対する啓発キャンペーンを実施。各種動画・声明・ガイドライン等を和訳して拡散。内閣府とも協働し、メディアで取り上げられました。



女性の経済支援強化・ 女性の参画推進

経済刺激パッケージ含め、新型コロナウイルス対策の各種施策の決定に女性が関わり、ニーズ・視点が反映されるよう、各種声明・ガイドラインを和訳。各種イベント・会合にて、啓発活動を実施。

皆様へのお願い



今日の話をも自分の家族、恋人、友達に話してください。
日本事務所のSNSをフォロー・拡散してください。



あなたの職場や組織で、女性特有のニーズやリスクを分析し、対策を考えてみてください。



国連女性機関がコロナ禍の日本及び世界でその役割を果たすためにご支援を！



ご清聴ありがとうございました！